

千秀だより

自分で考え
表現し
挑戦し続ける子

横浜市立千秀小学校

令和6年(2024年)9月30日



10月号

URL www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/senshu/

～千に秀でる子の育成～ クラス名 R6

イチゴー会

キラキラレインボー 光のきずな
えがおのパズル 世界地図 ビビンバ
大地 MemoryRoad

「ふりかえり」の季節です

校長 平島 幸江

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉通り、秋分の日を境に涼しく過ごしやすい気温の日が多くなりました。暦の上では、72候の「蟄虫坏戸」。虫たちが冬支度を始めるころとされています。気が付くと、令和6年も残すところあと三か月になってしまいました。

さて、9月の半ばには、6年生と日光修学旅行にとっても楽しく行ってきました。6年生は皆、仲良く協力して楽しむ姿や世の中のことを直接見て考える姿があり、一人ひとりの成長が見られ、とても気持ちがよく楽しい二日間でした。今月号の中でも（このページを開いた見開き面に）代表児童の感想を載せています。一人ひとりの日光での思考する顔や笑顔がイメージできる言葉が載っています。見聞しなければ湧いてこない思いや感情を言語化しています。ぜひ、ご覧ください。子どもは「良いもの」に出会うとグンと成長します。その実際を目の前で見ることができ、吸収力のよさに改めて感心した二日間でした。

児童の成果物でぜひご覧いただきたいものがもう一つあります。それは、6年生の教室前に掲示された修学旅行のふりかえりカードです。児童一人ひとりが自らのふりかえりを丁寧に記載用のスペース内いっばいに書いています。文字も丁寧に、筆圧もしっかり書いてあり、思いの強さや確かさを感じ取れます。さらによいところは、班の仲間一人ひとりにあてたメッセージを書く欄があるところです。これは、思い出をふりかえりながら仲間の良さにも気づけるように担任が仕組んだ「しかけ」です。たくさんのキラキラ言葉や楽しくなる言葉が並び、読んでいる私もいい気分になりました。ふりかえることで、楽しい思い出がさらに「深まる」「広がる」取り組みになっています。愉快で楽しい6年生の良さが感じられる6年教室前の廊下は、今まさに「メモリーロード」思い出の道になっています。

今週いっばいで前期終了となります。この時期をとらえて、児童も教員も学校全体でも「前期のふりかえり」を行っています。10月4日（金）に児童を通して保護者へお渡しする通知票「あゆみ」もそのふりかえりの一助となるものです。6月の懇談会や7月の個人面談等でお知らせしてまいりました通り、今年度の前期あゆみは、文章表記を無くしました。前期の終わりにまとめてお知らせするのではなく、できるだけ早いうちにお子様の成果物を返却したり、直接保護者の方とコミュニケーションをとったりすることに注力してまいりました。この取り組みはいかがだったのでしょうか。また、前期あゆみは、観点別等の記号や数字での表記になっていますが、個人面談等でお知らせしたことをもとにして、その一文字一文字の裏にあるお子様の姿を想像し、お子様のよさやがんばり、課題を読み取ってください。そして、できるだけこの土日のうちにお子様の学校生活についてご家族で話題にさせていただく時間をぜひ持ってください。「あゆみ」はお子様の学校生活の励みとする目的でお渡ししています。記号の数に一喜一憂するのではなく、お子様のここまでの歩みを認め、後期の目標を自ら見つけ出すことができますようエンパワメントしてあげてください。お願いばかりで恐縮ですが、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。